

## J-RACE2025 総括

本年4月20日日曜日、一昨年までと同様に学術集会の翌日に埼玉県大宮のソニックシティで行われました。試験結果は次のとおりです。受験受付者数300名、受験者数249名、欠席者数51名、問題数100問（知識問題50問、臨床問題50問）、不適切問題0問、最高点77点、合格者数166名、合格率66.7%、合格者最低点51点。

J-RACE2025の試験問題は、日本区域麻酔学会教育ガイドラインの内容から広く出題されました。ガイドラインには基礎・臨床医学だけでなく、歴史、教育、研究なども含まれ、これらの内容も出題されました。局所麻酔薬は区域麻酔で使用する最も重要な薬物です。局所麻酔薬の神経細胞への作用については、電位依存性ナトリウムチャネルへの作用など、専門家として深い知識を有するかを問う問題が出題されました。解剖は知識問題、臨床問題、部位、領域を問わず、さまざまな形式で問われます。神経の走行・分岐や支配領域が複数の問題で問われました。区域麻酔の重要な合併症として、局所麻酔薬中毒や神経損傷への対応を問う問題が出題されました。神経損傷の診断に関して、検査所見の評価を問う問題は正答率が低く、受験者にとって苦手な内容と思われました。また、海外や国内の他学会が発行するガイドラインの内容（PROSPECT、鎮静関連、臨床スコアなど）も、区域麻酔の臨床に必要な知識として出題されました。

・受付方法：学会ホームページでの申し込みが20分弱で埋まってしまい、多くの会員からご意見をいただきました。あらためてお詫び申し上げます。来年度の改善案を検討しており、後日皆様にご連絡いたします。定員300名のうち当日欠席者が51名・17%と例年と同じ程度に多く、その対策も検討しています。

・J-RACEの目的は会員に勉強していただくことです。そのための方策として、今後も教育委員会と連携しながらのセミナーや推薦図書などの提示をしていきます。

・問題の質を向上させるために、問題作成委員への勉強会を行ってきました。次回に向けてさらなる検討会なども計画しています。一方、問題漏洩の疑義が生じるとJ-RACEが成立しません。作成委員の気の緩みや疑わしい事案が生じないように、会員諸氏にもご協力をお願いする次第です。

・J-RACE2026は2026年4月26日日曜日、都市センターホテル（東京都千代田区）で予定しています。どうぞよろしく願いいたします。

2025年5月27日  
日本区域麻酔検定試験委員会